

自分で動く、自分で論じる

政治専攻



政治専攻は、「政治を勉強したい」という明確な目標を持った人のための専攻です。本学の政治専攻の特色を3つ挙げるとすれば、「歴史」・「現場」・「討論」ということとなります。

■「歴史」を知る

まずは「歴史」ですが、現代の政治を理解するためにも、歴史的な視点から分析することが重要です。日本政治史・西洋政治史・国際関係史などの歴史系科目は特に1・2年次に受講することになります。

■「現場」を見る

次に「現場」です。政治を理解するには、「政治の現場」を知ることも大切です。そのためにインターンシップやフィールドワークの形で体験してもらう科目を設けておりますし、オムニバス・セミナーなどで「現場」で活動する人たちの話を聞くこともできます。

■2つのコース

分析と応用コース

将来的に政治家やジャーナリスト、NPO職員といった形で直接政治と関わりを持ちたいという人向けのコースです。「歴史」などの基礎知識を得た上で、「現場」の経験を生かし、培った「討論」の能力を活用してください。特に「政治インターンシップ」が重要です。

理論と歴史コース

政治の現場よりも理論を深く学びたいという人向けのコースです。進路としては、政治家に限らず、一般企業や公務員・教員として働くことも想定されています。

■「討論」で磨く

最後は「討論」です。政治というものは他者との討論で展開してゆくものです。そのために、政治専攻では1年生全員が基礎演習A・Bを学びます。また、2年生以降は演習を2つまで履修できるようにしています。さらに、「討論」の教育を充実させるために、政治専攻は「少人数の学生と多人数の専任教員」で教育を行います。



Message 藤嶋 亮 准教授 (比較政治)

政治学は捉えどころのない学問です。それは人間の考えることや行動、感情に捉えどころがないことの反映と見ることもできますが、そこに何ともいえない面白さがあります。政治学を学ぶ意義の一つは、社会、そして人間に対する多面的な見方を身につけることだといえるでしょう（それは社会における問題解決のための手ごかり・技法ともなります）。

しかし、多面的な見方というものは、そうしようと思ったからといって、すぐにできるものではありません。さまざまな国や地域の実情を知り、先人たちの知的格闘に触れ、歴史の重みを理解する、あるいは現場での体験などを通じて、初めて視野(地平)が少し広がったと実感できるはず。政治専攻では、そのような機会をたくさん用意しています。多様な意見に触れ、議論を戦わせる、あるいは一つの問題についてとことん考え抜く、大学時代ならではの学びの場を、一緒につくっていきましょう。



履修モデル

	分析と応用コース	理論と歴史コース
1年生	基礎科目 現代社会論 f 現代の政治 基礎演習A・B f 展開科目 政治インターンシップ(長期・短期) f フィールドワーク 専攻科目 <歴史系>日本政治史 f 西洋政治史 20世紀の政治 国際関係史 関連科目 憲法I 経済理論入門 社会保障の基礎	
2年生	基礎科目 政治学 f 演習科目 演習I f 展開科目 オムニバス・セミナー f 専攻科目 <分析系>メディア論 社会運動論 政治家論 <理論系>日本の政治 国際政治 行政学 <歴史系>日本外交史 アジア政治史 関連科目 憲法II 行政法I 国家と国際法 ミクロ経済学 マクロ経済学	専攻科目 <理論系>日本の政治 国際政治 行政学 日本政治思想史 西洋政治思想史 <歴史系>日本外交史 アジア政治史 関連科目 憲法II 行政法I 国家と国際法 ミクロ経済学 マクロ経済学
3年生	演習科目 演習II 展開科目 スタディー・ペーパー 専攻科目 <分析系>政策過程論 選挙論 NPO論 ジェンダー論 環境政治学 平和研究 <理論系>地方自治論 政治哲学 社会学 比較政治 f 関連科目 行政法II 国際紛争処理法 国際人権・人道法 公共部門と財政 など	専攻科目 <理論系>地方自治論 政治哲学 社会学 比較政治 f <分析系>福祉国家論 政治文化論 政治心理学 政治変動論 地域研究 関連科目 行政法II 個人と国際法 国際人権・人道法 少子高齢化社会と社会保障 など
4年生		

森本 優希 さん 政治専攻3年

Student voice

政治専攻は1学年に1クラスしかないので、クラス内で友好関係を築きやすいのが特徴です。そして2年生からはゼミが始まり、他学年の先輩や先生とも交流を深めることができました。議論中は自分とは全く異なる意見も出てくるので、様々な視点から考えることの大切さを学べます。講義のことでアドバイスを頂いたり、話題になっている政治の話をするのもできる貴重な時間です。

また、政治インターンシップでは普段は入れない政治の現場で政治家の活動を見ることが出来ます。1年の春休みを利用して区議会議員の方のもとでインターンシップをさせていただきましたが、これまでは知り得なかったことを直に見て知ることができ、政治への興味がより一層深まりました。

政治専攻では大学内外に関わらず、多くの人との交流の中で見聞を広めることができます。私も充実した楽しい大学生活を送ることができています。



●政治インターンシップとは？

政治専攻では展開科目の一つとして「政治インターンシップ(長期・短期)」が開講されています。政治事務所・官公庁・マスコミ・NPO等、政治と行政に関係するインターンシップ先で実習を行い、レポートを執筆すると単位が認定されます。実習時間は「長期」については160時間、「短期」については80時間となります。政治や行政の現場を知る貴重な機会ですので、積極的に参加しましょう。 f



政治専攻学生座談会

「少人数だから他の大学とは違う！」

政治専攻について、4月に4年生になった3人の学生にいろいろな角度から話してもらいました。和気あいあい、とても自由な座談会となりました。

学生どうしも教員とも距離が近い

宮下先生(H) 今日はありがとうございます。政治専攻について自由に話ってくださいね。

三橋さん(M) 政治専攻って、仲がいいと思う。男女ともに仲いいし、人数が少人数っていうのがあって、そして1年の時は政治専攻だけっていう授業も多かったから、自然に仲良くなる機会が多かったと思う。

坂さん(B) 確かに。

長田くん(O) 大学生活で思った感じじゃなくて、わりと高校の「クラス」みたいな。

M あ、わかるわかる！特に1年生の時は「基礎演習」とか、必修の授業で仲良くなった。

B 「キソエン」は貴重だよな。

M うん、あの授業一番役に立ったと思う。

B 確かに。レジュメの作り方とか、ね。

M すごいキツかったけどな。

B 後期、めっちゃ辛かった。毎回レポート提出で。しかも手書きで。

M そうそう。

B 手書きといえば、なんだっけ、「カリタン」の授業…

O おい～！「先生」！「列田(かりた)先生」！

M 宮下先生、ここ録音カットで！(笑)

列田先生の「現代社会論」、課題が大変だったけど、ちょー楽しかった。

B めっちゃ当てられる。

M 自分で考えて答えないと。

B それだったら宮下先生の授業もだよな。「政治学」。

「どう思いますか？」「どう？」「どう？」…。「どう？」って言われても！

H …

M あはっ。でもなんか緊張感があるから、受け身にならない。当てられたときのためになんか考えておかないと、ってね。意見言う力はある。

O サボれないんだよね～。宮下先生、俺の座っている位置まで覚えていて、今日はいなかったとか。

M 少人数だからこそだよな。先生と距離が近い。

1年生のときの授業は、課題とか多くて大変だったけれど、一番楽しかった気がする。

B 「必修」は楽しい。いろいろ考えたり。

O そう考えると他の大学とは全然違うよね。

B うん。

M 違うと思う。なんかうちがわりと早めにいろんなカリキュラムが始まらない？ゼミとかもそうだし。基礎演習とかも、入学してすぐいろんな本格的な授業が始まった気がした。

O ま、そのおかげで、ね、授業出ても誰かしらいるし、友達が広がる感じがした。

B 政治の授業出れば誰かしらいるでしょ、みたいな。

M うれしいよね、誰かいると。

「ちゃんと見られている感じがする」

O 先生の間で学生の情報を共有しているんですね？

M なにそれ？「どんな子」みたいな？

H 学期の終わりごとに、政治専攻の先生のスタッフ会議を開いて、だから前期の終わりには「基礎演習A」を担当した4人の先生が、担当した学生一人ひとりについて「こんな学生です」という簡単なコメントを書いて、スタッフ全体で共有する。後期の終わりには「基礎演習B」の担当教員4人が同じように学生の情報を他の教員に伝えるわけです。

M へえ、おもしろい。でもそこまで一人ひとりの学生を先生が見てくれるって、他の大学じゃないよね。ちゃんと見られている感じがする。

B だってびっくりしたもん。私「現代社会論」はもろんとったけど、列田先生と特に話したことなかったの。で、そのあと「政治哲学」とったの。ところがレポートを提出するのに、パソコンの調子が悪くて、メールで連絡したの。で、そのあと法学資料室で会ったら、「あ、坂さん、レポート大丈夫だったよ」って言われて、…



坂 なつみ さん

M え、すごい、覚えてるんだ！

B すごいと思った。

M 普通、覚えてもらえないよね、先生に。

O 結構覚えてます？

H うん、全員っていうわけにはいかないけど。そもそもこの座談会やるんだったら、他の大学だったら教員は自分のゼミの学生以外はあまり知らないでしょう？でもうちの場合だと、三橋さんと長田くんは私のゼミの学生ではないけれど、直接「出てくれない？」って

頼めるところが違うと思う。

O 確かに宮下先生とは、ゼミ生でもないのに一緒に飲んだりとかしましたけど。

「行動する人」から影響を受ける

M うちの政治専攻の場合、1年生の時から、海外にボランティアに行ってる友達もいたし、入学してすぐ政治インターンシップに興味持ってる友達とか、なんか「動くのが早い」人がたくさんいて、それに影響されて、「あ、自分もなんかやってみようかな」って。「1年生でもいろいろやってみてもいいんだ」っていう気持ちになったのはすごい覚えてます。

H うん、政治専攻のコンセプトとしては「現場に行け」というのがありますからね。

M そうですよな。

B インターンシップは楽しかった。

M どこいったの？

B 私は160時間を80時間・80時間に分けて、都議会議員と衆議院議員のところに行ったの。で、都議会議員の方は、地元の議員に電話かけてやらせてもらったんだけど、むこうも都議一年目で、こっちもインターンシップ初めてだし、だから2人でとにかく走りまわって…

H 坂さんは1年の夏に、自分で開拓して…

M すごい！そういう人がいると影響される…

私は神奈川県議会議員さんのところで実習したんだけど、その人は地域密着で、高齢者と子どもとか、自分に興味ある政策をやっている人のところに行こうと思って、私は斡旋してくれるNPOを介して行ったんですけど、めっちゃ楽しかったです。学童保育とかを回って、問題がないかを調べたりとか、結構泥臭い仕事なんだなって思いました。

B そうだね。

M で、私、学童保育を回っているうちに、学童保育って、スタッフとか足りてないんですよ。70人くらいの学童保育の施設に、先生1人みたいな。で、結局そのあとボランティアの形で、ずーっと学童保育に通いました。

なんかそこから、インターンシップで終わらないで、議員さん顔が広いし、どんどんその先つながって行ってボランティアまでできたのがよかったって思います。楽しかった、すごい。

O 俺は衆議院議員。都心の選挙区の議員さんなんだけど、で臨海部は今開発が進んでるんだけど、超高層ビルがある真裏にすごい古い住宅があったり、アンバランスなんだよね。「その問題を考えてみない？」って言われて、ずっと考えながら仕事して、自分なりに対策を考えさせられた。だから、本当に自分が秘書になった感じで政策を考えて…

M それってすごいね～。

O その経験を生かそうと思って、そのあと、単位関係なしに、つてをたどって地元の区長(東京23区の)さんのところに行っていて、区民から上がってきた問題を扱わせてもらって、ちゃんと秘書としての名刺を

作ってもらって、実際に動いて仕事させてもらってる。

M・B すごい！

M 大学に普通に通っているだけだと、大人との接触はあまりないから、電話の応対とか、そういうのを社会に出る前に経験できたというのは、すごいいい経験だった。

B 制度がなければ行こうって気にならないかもしれないけど、カリキュラムに入っていると、「よし、行こう」っていう原動力になるよね。「大学つまんない」っていう人がいない

O 大学入る前、政治に興味あった？

M 私は高校生の時、東日本大震災とかあって、原発のこととか、政治への関心が高まったじゃないですか。そのときに、社会問題とか興味あったから、政治関係の学部ばかり受けた。

B 私は教職の公民の免許を取ろうと考えていて、ゼミ必修だし2年から始まるし、インターンシップも単位になるし、ということで國學院に決めた。

O 嘘だろ、みんな。俺願書間違えて政治専攻に入ったんだから。法律だと思って応募して、受験票きたら政治だった。

M・B なにそれ！

O だから入ってから、例えば「三権分立」全然答えられなかった。でも、入ってみたら、「意外と面白いじゃん」みたいな。

M 政治専攻って、大学入ったけど「大学つまんない」っていう人はいないよね。

B 「入ると間違えたー」みたいなことない。

M 授業楽しいし。

B 友達もちゃんとできるし。

ゼミで感化されて本を読むようになった

M ゼミはどういう基準で選んだ？

O 俺、正直特につけて感じだけど、先生で選んだんだけど、小原先生のゼミね。結果的には一番いいゼミに入ったと思う。政治がすごく好きな先輩がいて、その人の影響を受けて、政治の本も読むようになって。ゼミ入って、感化されて成長した。

B 私はキソエンが宮下先生で、ゼミのテーマが合いそうだったと思って入った。

M 私は実地調査をやる行政学のゼミで、自分の思っていたゼミとはちょっと違ったけど、自分で調べに行かなければならなくて、研究したんだけど、すごく楽しかった。文献読むよりも得られることが多くて。

B ゼミってすごい多様性あるよね。

O ゼミペーパー、俺テーマは「アメ・コミ」で書いたんだよ。「敵がブッシュ大統領」とかあるからさ。それで、時代背景と政治の文脈を読み込んで、書いた。漫画とDVDしか見てないんだけど。

B 私は心理学も使って、「今の民主主義でどんな形で独裁が成り立つか」みたいな形で書いた。抽象的な話だったのだけど、発表の時は男子

は抽象的な議論についてこれなくて、女子ばかりで議論することになった。

M まとめてと、2年次から取れるっていうのはすごく大きいよね。

H そろそろ時間ですね。話題がさまざまな方向で飛び交い、楽しい座談会でした。今日はありがとうございます。



三橋 沙樹 さん



長田 大空 さん



政治専攻

卒業生からのメッセージ



かつまた りんたろう
勝又 麟太郎 さん

就職先
埼玉県庁

大学の一番の魅力は「ゼミで自分の学びたい分野を極められる」ことではないでしょうか。政治専攻は、そんなゼミに最長3年間所属できる制度があります。学生の人数が多くはないため必然的に教授との距離が近くなり、自分の極めたい分野を思い切り学ぶことができます。まだ学びたいことが定まっていない方も、多彩な講義があるので、自分に興味のある分野がきっと見つかるはずです。私は公務員の道に進みますが、法律系はもちろん、教養についても大学の講義は多めに役立ちました。教授とも学生とも近いこの素晴らしい環境で楽しい学生生活を送ってください！



たなか みずき
田中 瑞稀 さん

就職先
横浜市役所

政治専攻は、学びの場であり、成長の場であり、そして出会いの場です。これは私の実体験です。まず学びの場としては、授業やゼミを通して先生方と近い距離で仲間と共に知識だけでなくたくさんのお話を学ぶことができます。成長の場というのは、こうした環境の中で学習面そして人としても成長することができるということです。最後の出会いの場というのは、他専攻に比べ人数であることから同期との仲も良く先輩や後輩とも交流があるということです。また内輪だけでなく政治インターンシップ等に参加することで外の方々との出会いの場にもなります。そしてなによりも卒業する頃には入学した時とは違う成長した自分と出会うことができるはずです。



すぎた みお
杉田 美央 さん

就職先
銀座アスター食品株式会社

大学ではなんでもできます。遊び、勉強、自分の興味があることに熱中できる環境があります。特に専攻に関わる政治の分野では学校のサポートやバックアップするシステムがあり、一人では通常やらないようなことまで実現可能です。時間をどのように使うかは自分次第です。四年間を振り返ると、自分で考えて行動し、國學院大学の政治専攻でしかできない大学生活を満喫したと思います。生の政治の現場に飛び込み、普通の学生では体験できないような経験。早期のゼミ開始でできた仲間。責任を持ち自己決定を行う力。身に付いたものはすべて宝物です。



みつま あさみ
三間 麻美 さん

就職先
花王カスターマーマーケティング株式会社

同じ大学生でも、その学生生活は人それぞれです。皆、力をいれている事や夢は様々で、そういう自分の知らない世界を知っている人との交流は非常に勉強になります。政治専攻は少人数制でクラスの生徒、教授との距離が近い為、コミュニケーションが取りやすく、また様々な人がいるのでとても刺激的でした。特に政治インターンシップでは、行き先を決める際、個人の目的に合わせて行き先を教授と相談する事が出来ます。そして実際に政治の現場では、今まで知らなかった世界が広がっており、非常に貴重な経験をする事が出来ると思います。

何に挑戦したいか、どんな学生生活を送りたいか、それらをイメージした上で頑張ってください！



みのわ ともみ
箕輪 智美 さん

就職先
宮内庁

私は政治専攻での4年間で、様々な価値観に触れることができました。たとえばゼミに所属したとき、一つの政策に対して挙がる十人十色な意見に圧倒されました。また、議員さんのもとでお手伝いをさせていただいたインターンシップでは、政治家やそれを支える方々の活動を自分の目で確かめることができました。4年間をどう過ごすかは自分次第ですが、せっかく自由な時間があるのだから有効に活用するべきだと思います。國學院大学政治専攻には少しの興味があれば後押ししてくれる環境と、学生に寄り添ってサポートしてくれる教授がいます。ぜひ、政治専攻という選択肢を考えてみてください。



むねいし まみ
宗石 真実 さん

就職先
三菱地所ホーム株式会社

「面白い問題は現場にある。」これは教授がよくおっしゃっていた言葉であり、大学生活の中で身をもって学んだことの一つです。政治専攻では政治インターンシップやゼミなど、実際の現場で学ぶ機会が多いです。私はそれに加えて、政策コンペや自治体の事業に参加するなど、大学内だけでなく外での活動も積極的に行いました。大学ではそれぞれの意思に従って能動的に学ぶことが大切だと思います。そして、政治専攻は少人数で学生一人一人に対応してくれるので、それが行いやすい環境であると思います。大学で自ら学びたいテーマや現場を発見し、自分で面白いと思える問題に挑戦してください。



やまだ まさと
山田 誠人 さん

就職先
神奈川県警察

政治専攻では、歴史や国際関係について学ぶ座学だけでなく、インターンシップやフィールドワーク等の現場体験もすることができ、社会について多面的かつ柔軟に考える力を身につけることができます。また、政治専攻は、レジュメや論文の作成といった苦勞の多い演習単位を2、3年次で修得し終わられるため、4年次には就活に集中できたり、サークルでの思い出づくりに時間を有意義に使えます。大学での様々な経験は、楽しいことも辛いことも糧となって自分を大きく成長させてくれます。みなさんも美りの多いキャンパスライフを送ってください。



やまの あずさ
山野 あずさ さん

就職先
大和証券株式会社

私は苦手な政治を専攻する政治専攻に入学してしまい、初めはついていくことができず辞めたいと思うことが多くありました。しかし4年間を通して政治専攻を選択してよかったなと思っています。なぜなら、政治専攻は2年次からゼミに所属ということでゼミ生との交流も深まり、先生との距離も近いので就職活動についても相談しやすい雰囲気がある上に、政治専攻自体が少人数なため、先輩後輩との仲も深まります。また入学当初は将来どのような企業に就職したいという希望は全くありませんでしたが、政治・法律という分野は就職活動において役立ちました。特に政治学は面接においての話題作りで大いに役立ちます。勉強以外に関しても、サークル活動やアルバイトを通じて大学生活を充実したものにすることができました。私のように将来何がしたいか決まっていなくても政治専攻に入学すると就職活動で必ず役に立つ時がきます。ぜひ政治専攻に入学して多くの友人を作り充実した4年間を過ごしてください。